

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第33週[8月15日～8月21日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

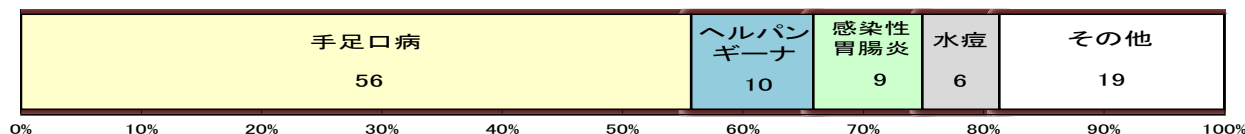
○ 患者情報総評

警報発令疾患 : 手足口病

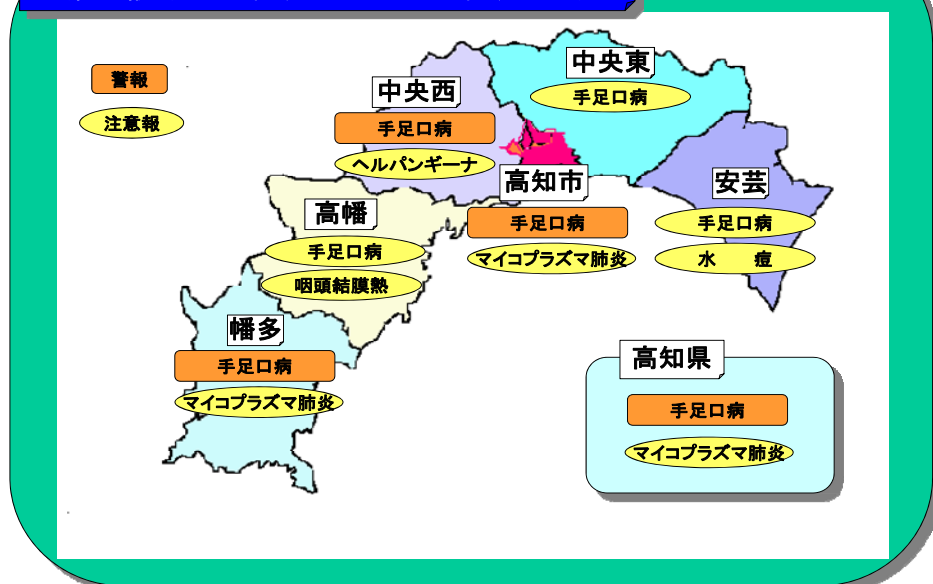
注意報発令疾患 : マイコプラズマ肺炎

- 流行していた手足口病やヘルパンギーナは前週に引き続き減少した。
- 手足口病** (高知市: 警報→警報, 中央西: 警報→警報, 幡多: 警報→警報, 高幡: 警報→注意報, 中央東: 注意報→注意報, 安芸: 警報→注意報) は全ての地域で減少し, 総数は引き続き減少した。
- ヘルパンギーナ** (中央西: 注意報→注意報) は高幡, 中央西を除く地域で減少し, 総数は引き続き減少した。
- 感染性胃腸炎** は例年並みの低いレベルで推移しているが, 第32, 33週に搬入された検体からは *Salmonella Enteritidis* 2件が検出されている。
- マイコプラズマ肺炎** (幡多: 警報→注意報, 高知市: 注意報) は前週報告数が増加し, 今週は半減したが, 定点(基幹定点以外)からのコメントに多数記載されており, 今後の推移が注目される。

上位疾患構成図

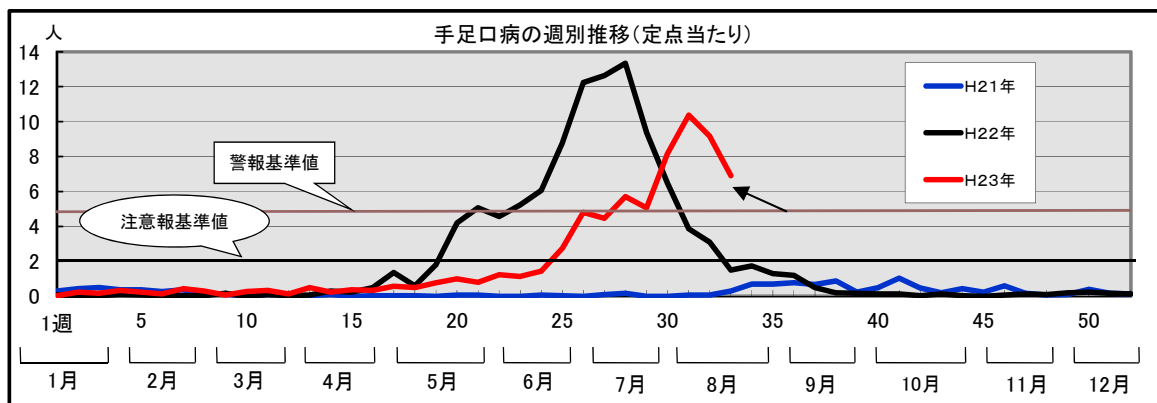


地域別感染症注意報・警報発生状況 第33報 (2011年8月15日～2011年8月21日)



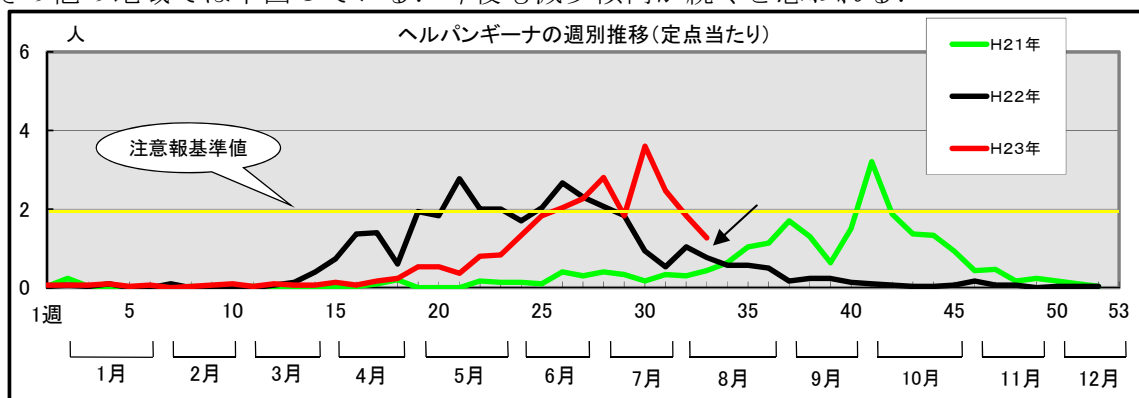
手足口病 : 今週 6.90 (注意報値 : 2.00 警報値 : 5.00)

前週減少に転じ, 今週も引き続き減少した。全ての地域で減少し, 流行のピークは過ぎたと思われるが, 高知市, 中央西, 幡多では依然警報値を超しており, しばらくは注意が必要である。第26～30週に搬入された検体からはCoxsackievirus A6 14件, Coxsackievirus A16 1件が検出されている。



ヘルパンギーナ：今週 1.27 (注意報値：2.00 警戒値：4.00)

第30週をピークに減少を続けている。地域毎にみても、注意報値を超しているのは中央西のみで、その他の地域では下回っている。今後も減少傾向が続くと思われる。



検査情報

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
33	感染性胃腸炎	1歳 女	高知市	<i>Salmonella Enteritidis</i>
33	マイコプラズマ肺炎	2歳 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
33	マイコプラズマ感染症	5歳 女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入され検出された病原体

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
22	ヘルパンギーナ	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
26	咽頭結膜炎	2カ月 男	幡多	Echovirus 6
26	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
26	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
27	感染性胃腸炎	5歳 男	高知市	Coxsackievirus A6
27	手足口病	2歳 女	中央東	Coxsackievirus A6
27	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
27	手足口病	2歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
27	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
27	手足口病	2歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
27	手足口病	10カ月 女	高幡	Coxsackievirus A6
28	手足口病	1歳 男	高知市	Coxsackievirus A6
28	上気道炎	2カ月 男	高知市	Parechovirus NT
29	無菌性髄膜炎	1歳 男	中央東	Coxsackievirus B1
30	手足口病	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A16
30	手足口病	1歳 男	高知市	Coxsackievirus A6
30	手足口病	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
30	手足口病	3歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
30	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
30	手足口病	7歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
30	無菌性髄膜炎	5歳 女	高知市	Echovirus 6
32	扁桃炎	1歳 男	中央東	Parechovirus NT
32	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11歳 女	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12
32	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3歳 男	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12
32	感染性胃腸炎	5歳 女	高幡	<i>Salmonella Enteritidis</i>

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 6例（0～4歳男，5～9歳男女：無症状病原体保有者，80代男）《幡多》
（30，40代男）《高知市》（今年115例）

○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 4例（1～4歳男女） マイコプラズマ感染症 2例（3，7歳女）

高幡：

《もりはた小児科》：アデノウイルスによる扁桃炎 3例 マイコプラズマ肺炎 1例（6歳男）

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：流行性耳下腺炎 1例（4歳男）は県外から帰省
手足口病 1例（1歳男）は県外から帰省

《日高クリニック》：RSウイルス感染症の1例（2ヵ月女）は県外から帰省
手足口病の1例（4歳男）は高知市

高知市：

《三愛病院小児科》：带状疱疹 1例（3歳男）

《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス陽性 3例（1歳女，4，39歳男）

マイコプラズマ肺炎 5例（1～7歳男女）

中央東：

《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 2例（5歳女，7歳男）

《早明浦病院小児科》：発熱，嘔吐，下痢等の症状呈する感染性胃腸炎の児が増多，ウイルス，菌検出は
されていない。

全国情報第31週（8/1～8/7）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核380例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢5例、腸管出血性大腸菌感染症250例（有症者205例、うちHUS 5例）

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病1例、デング熱3例、日本紅斑熱5例、マラリア2例、ライム病1例、レジ
オネラ症18例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌
感染症3例、後天性免疫不全症候群13例（無症候11例、その他2例）、梅毒14例、破傷風1例、バン
コマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん6例、麻しん5例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、E型肝炎2例、エキノコックス症1例、オウム病1例、デング熱2例、日本紅斑熱
3例、マラリア2例、ライム病1例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、バンコ
マイシン耐性腸球菌感染症2例

◆ 定点把握の対象となる5類感染症

○ インフルエンザ：定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県（0.66）、石
川県（0.06）、茨城県（0.04）、鹿児島県（0.04）が多い。

○ 小児科定点報告疾患

・ RSウイルス感染症の報告数は808例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占
めている。

・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では群馬県（1.51）、秋田県（1.24）、
埼玉県（0.93）、静岡県（0.93）が多い。

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別では高知県
（1.63）、佐賀県（1.39）、大分県（1.31）が多い。

・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県（5.1）、大分県（5.1）、山形県（4.6）
が多い。

・ 水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では三重県（1.56）、北海道（1.46）、岩手
県（1.38）が多い。

・ 手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）と比較
してかなり多い。都道府県別では山形県（14.7）、大分県（14.4）、岩手県（13.8）、石川県（12.0）、三
重県（11.1）、東京都（11.1）が多い。

・ 伝染性紅斑の定点当たり報告数は横ばいであり、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別で
は宮崎県（1.86）、長野県（1.29）、福島県（1.25）が多い。

・ 百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県（0.12）、兵庫県（0.11）、福岡県（0.11）
が多い。

・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別
では新潟県（12.8）、群馬県（9.2）、長野県（8.1）が多い。

・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県（2.73）、長野県（2.71）、愛
媛県（2.59）が多い。

○ 基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較し
てかなり多い。都道府県別では大阪府（2.67）、愛媛県（2.00）、宮城県（1.75）が多い。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前 週	全国(32週)	高知県(33週未累計) H23/1/3~H23/8/21
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									74 (0.02)	12,335 (256.98)
小児科	咽 頭 結 膜 熱		5	4	1	3		13 (0.43)	6 (0.20)	1,337 (0.45)	218 (7.27)
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	2	3	11	2	1		19 (0.63)	22 (0.73)	1,780 (0.59)	1,720 (57.33)
	感 染 性 胃 腸 炎	5	9	17	1	1	1	34 (1.13)	35 (1.17)	6,722 (2.24)	6,282 (209.40)
	水 痘	4	8	7	3		2	24 (0.80)	17 (0.57)	1,868 (0.62)	1,365 (45.50)
	手 足 口 病	4	27	106	26	9	35	207 (6.90)	275 (9.17)	17,100 (5.70)	2,067 (68.90)
	伝 染 性 紅 斑		1	5	1			7 (0.23)	14 (0.47)	1,306 (0.44)	294 (9.80)
	突 発 性 発 疹	3	1	9	1	2	2	18 (0.60)	11 (0.37)	1,798 (0.60)	477 (15.90)
	百 日 咳								1 (0.03)	96 (0.03)	13 (0.43)
	ヘルパンギーナ	3	4	15	9	2	5	38 (1.27)	55 (1.83)	9,643 (3.21)	774 (25.80)
	流行性耳下腺炎		1	2	1	1		5 (0.17)	6 (0.20)	2,343 (0.78)	243 (8.10)
	RSウイルス感染症				1			1 (0.03)		838 (0.28)	558 (18.60)
眼科	急性出血性結膜炎									171 (0.27)	(0.00)
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	1 (0.33)	414 (0.65)	33 (11.00)
基幹	細菌性髄膜炎								1 (0.14)	11 (0.02)	3 (0.43)
	無菌性髄膜炎			2				2 (0.29)		21 (0.05)	15 (2.14)
	マイコプラズマ肺炎			3			1	4 (0.57)	8 (1.14)	320 (0.70)	72 (10.29)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 (0.14)	20 (0.04)	8 (1.14)
計 (小児科定点当たり人数)	21 (10.50)	59 (8.43)	182 (16.00)	46 (15.33)	19 (9.50)	46 (9.00)	373 (12.20)				
前 週 (小児科定点当たり人数)	19 (9.50)	62 (8.86)	193 (17.18)	44 (14.67)	23 (11.50)	112 (21.00)		453 (14.73)	45,862	26,477 (724.01)	

定点当たり

第33週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前 週	全国(32週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ									0.02
小児科	咽 頭 結 膜 熱		0.71	0.36	0.33	1.50		0.43	0.20	0.45
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	1.00	0.43	1.00	0.67	0.50		0.63	0.73	0.59
	感 染 性 胃 腸 炎	2.50	1.29	1.55	0.33	0.50	0.20	1.13	1.17	2.24
	水 痘	2.00	1.14	0.64	1.00		0.40	0.80	0.57	0.62
	手 足 口 病	2.00	3.86	9.64	8.67	4.50	7.00	6.90	9.17	5.70
	伝 染 性 紅 斑		0.14	0.45	0.33			0.23	0.47	0.44
	突 発 性 発 疹	1.50	0.14	0.82	0.33	1.00	0.40	0.60	0.37	0.60
	百 日 咳								0.03	0.03
	ヘルパンギーナ	1.50	0.57	1.36	3.00	1.00	1.00	1.27	1.83	3.21
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18	0.33	0.50		0.17	0.20	0.78
	RSウイルス感染症				0.33			0.03		0.28
眼科	急性出血性 結 膜 炎									0.27
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.33	0.65
基幹	細菌性髄膜炎								0.14	0.02
	無菌性髄膜炎			0.40				0.29		0.05
	マイコプラズマ肺炎			0.60			1.00	0.57	1.14	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							0.14	0.04	
計 (小児科定点当たり人数)	10.50	8.43	16.00	15.33	9.50	9.00	12.20			
前 週 (小児科定点当たり人数)	9.50	8.86	17.18	14.67	11.50	21.00		14.73		

2011年週報推移(定点当たり)

